

製品名: NOLC1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85865

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 74 kDa; Observed MW: 110 kDa

抗原情報

遺伝子名	NOLC1
別名	P130; NOPP130; NOPP140; NS5ATP13
遺伝子 ID	9221.0
SwissProt ID	Q14978
免疫原	ヒト NOLC1 の合成ペプチド

背景

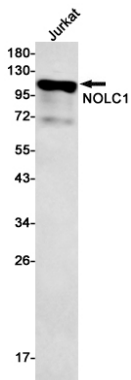
RNA ポリメラーゼ I をリボソームのプロセッシングおよび修飾を担う酵素と結合させることで、RNA ポリメラーゼ I の調節因子として

機能する核小体タンパク質 (PubMed:10567578, PubMed:26399832)。神経堤の分化に必須: BCR(KBTBD8)複合体によるモノユビキチン化後、TCOF1と会合し、RNAポリメラーゼIをリボソームのプロセッシングおよび修飾を担う酵素と結合するためのプラットフォームとして機能し、分化細胞の翻訳プログラムを神経堤の分化に有利なように再構築する (PubMed:26399832)。核小体形成にも関与し、核小体における線維状中心および高密度線維状成分の基本構造の維持に関与している可能性がある (PubMed:9016786)。固有のGTPaseおよびATPase活性を有します (PubMed:9016786)。

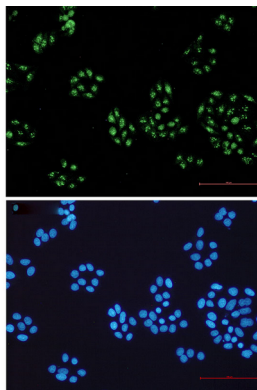
研究分野

-

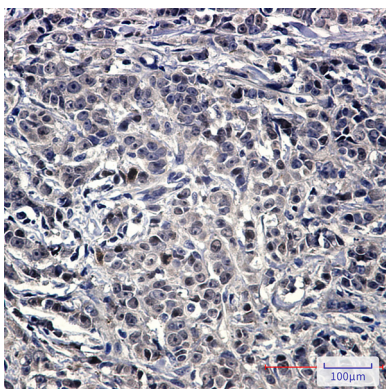
画像データ



NOLC1抗体を使用したJurkat溶解物中のNOLC1のウェスタンプロット分析。



NOLC1抗体とDAPI(青)を用いたHela中のNOLC1(緑)の免疫細胞化学分析



NOLC1抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。